

Press Release

平成18年8月1日
日本公認会計士協会

公開草案「監査時間の見積りに関する研究報告（中間報告）」 の公表について

このたび、日本公認会計士協会（監査・保証実務委員会）は、8月1日付けで公開草案「監査時間の見積りに関する研究報告（中間報告）」を公表いたしました。

本公開草案は、監査業務の質を確保するとの観点から、監査時間の見積りの参考となり、かつ監査時間の確保に関して被監査会社等の関係者からの理解が得られるものとなるよう、監査時間の見積りに当たって考慮すべき事項や見積り例を研究報告として示したものです。本公開草案の概要は、次のとおりです。

1. 見積りに当たり考慮すべき事項

- (1) リスク・アプローチに基づく監査
 - ① 特別な検討を必要とするリスクへの対応
 - ② 監査チームメンバーの経験や能力
 - ③ 専門家の業務の利用の程度など
- (2) 監査時間の見積りに影響を与える諸要因
 - ① 被監査会社の規模及び複雑性
 - ② 被監査会社における過去の監査結果の利用
 - ③ 被監査会社の決算体制など
- (3) 監査の効率化
 - ① 補助者の手待ち時間の削減
 - ② 被監査会社の担当者への事前依頼の徹底
 - ③ 補助者に対する監査現場での適時の指導
 - ④ 被監査会社の帳票管理方法の改善

2. 見積り例

- (1) モデルとなる会社等の概要
 - ① モデルとなる会社は、継続して証券取引法監査及び会社法監査を受けている、連結上の売上高及び資産総額が2千億円程度等の上場会社を想定
 - ② 監査チームは、監査責任者2名、主査1名、補助者10名を想定

(2) 見積りの過程

監査契約から監査意見の形成等に至る監査実施過程における具体的な作業内容を詳細に説明した上で必要な時間を積み上げている。特に、統制リスクの評価に当たっては、販売サイクル等重要なサイクルは、もう一段階細分化したプロセス、レベルで手続を実施することを想定

(3) 見積りの結果 (P.8の監査時間の見積り結果の要約表及び付録「監査時間の見積り例」参照)

	計 画	統制リスクの評価	実証手続	意見形成等	合 計
監査時間	541.0	1,325.0	1968.5	707.0	4,541.5
比 率	11.9%	29.2%	43.3%	15.6%	100.0%

- ・ 上記結果に関する重要ポイント
現状における同程度の規模の会社に比し、監査時間は相当増加
(理 由)
監査業務の質を確保する観点から、特に次の点を重視
 - － 適切な統制リスクの評価に係る時間を考慮 (対象の拡大、各対象におけるサンプル数の増加)
 - － 適切な監査調書の作成時間を考慮
 - － 事務所内監査調書レビュー等の品質管理に係る手続の実施時間を考慮

本公開草案に対する意見の募集について

本公開草案についてご意見がございましたら、平成18年8月22日(火)までに、下記に、電子メール又はFAX(できるだけ電子メールでお寄せくださいますようお願いいたします。)によりお寄せください。

お寄せいただいたご意見につきましては、個別には回答をしないこと、また、氏名又は名称を含めて公開する可能性があることを、予めご了承ください。

記

- (1) 担 当 事 務 局 : 日本公認会計士協会 調査第一課
- (2) 電 子 メール : chousai@jicpa.or.jp
- (3) F A X : 03-5226-3355
- (4) 問 合 せ 先 : 03-3515-1128

以 上